



学だより

碩愛

No. 6

H31.4.26 発行

児童生徒会のかじ取り役

24日（水）の児童生徒会リーダー研修会

後の感想（要旨）をいくつか紹介します。

【田中章惺くん】今まではリーダーシップがあれば、リーダーになれると思っていた。でも、「良いリーダー」になるには、リーダーシップだけでなく、人に注意することができる強さ、間違ったことをしてしまったら謝ることができる素直さなど、人間としての魅力も必要だということ学んだ。また、リーダーには信念や仲間が欠かせないということも学んだ。

【岩田祐平くん】ぼくは「碩（おおき）な心」ということが今の自分に一番必要だと思った。碩な心は、えがお・まなぶ・すなおということを伝えられ、今までの委員会活動でそのようなことができていたか見直した。これからは日常活動でも、行事でも、今回の話をいかして信頼されるリーダーとなり、信頼できるフォロアーとともに頑張っていきたい。また「夢なき者に成功なし」という吉田松陰のことばを「夢あるからこそ仲間あり」というように肯定的に置き換えることで、自分たちがこれからどのようにしていけばよいのかが分かった。

【衛藤七海さん】私は「仲間」は奥深いものだと感じた。なぜなら、仲間というのは友達と同じようなもので、単に一緒に行動する学級や学年の人と思っていた。しかし、仲間とは何かという問いに対し、信頼、愛、絆、助け合い、素直など、ただ一緒にというだけでなく、どのようにつながっているか、どれだけ信じ、ありのまま対応できるかが大切だと思った。

【諫山桃子さん】夢なき者に成功なしというより、夢ある者に成功ありと肯定的に言う方が確かに、小さなことでも夢に向かって進むだと信じて頑張れるように思った。さらに「夢あるからこそ成功あり」という言葉の方が、より自分の可能性を信じて背中を押してもらえるようで素敵だなと思いました。

それから「仲間＝信頼＋尊重」ということを9年生全員で大切にし、苦しいことも乗り越え、卒業式では私たちも信頼と尊重の絆で結ばれた最高の仲間だったといえるようにしたい。



新時代の幕開けに思うこと

あら 新たな時代の幕が間もなく開きます。平成の時代は、インターネットが発達し、消費・所有に執着せず物質的な豊かさよりも精神的な豊かさを重視する傾向が

みられた時代だと言われています。

また、既成の概念にとらわれず、新たな価値が創造

れる中で多様性が尊重され、昭和は古臭いとした時代でもあったかもしれません。

でも、昭和の時代を「古臭い」と画一的に評価するとしたら、やがて令和の時代を生きる人たちから、平成は古臭いと言われることでしょう。批判的に評価することの無意味さを感じます。

時代は如何に変わろうとも、人々が幸福に暮らすためには普遍的な価値と先取の気風のどちらも大切にしていくことが大事であることは言うまでもありません。

令和が「尊重と信頼による調和の時代」であってほしいと願うと同時に、人生の半分ずつを昭和と平成の時代に生きてきた者の

10連休も安全第一で！

碩田学園の児童生徒は、日ごろから大きな事故や事件に巻き込まれることなく、安全・安心を第一に考えて楽しい生活を送っています。

気分はウキウキでしょうが、この10連休中も、安全第一で充実した日々を過ごしてほしいと思います。ENJOY!

【訂正】 前号の食

育の記事で、「お弁当の日には5年生から自分で作る」とお伝えしましたが、正しくは7年生からです。すみませんでした。お詫びして訂正します。

